

## 令和 6 年度の学校評価

本年度の 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 4 年度からの新教育課程に基づき、第 1・2 学年では昨年度の経験を活かし、第 3 学年では担当教員間の共通認識のもとで、指導と評価の一体化に新たに取り組む。</li> <li>・総合的な探究の時間の「活力」の在り方を見直すため、1 学期から検討を開始する。</li> <li>・学校行事を生徒の主体性やリーダー育成の機会と捉え、活性化した現状を維持する。</li> <li>・特別支援教育委員会を時間割内に位置付け、支援が必要な生徒の情報を共有することにより、必要に応じて組織的な対応を実施する。</li> <li>・業務内容の点検・精選等によって働き方改革を進め、教職員の健康維持を図る。そのために教職員からの意見を広く求め、具体的な提案を行う。</li> <li>・スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー、部活動指導員と連携してチーム一宮興道の視点で教育活動にあたり、同窓会事業及び P T A 活動を充実させ、学校評議員会を開催して地域に開かれた学校作りを行う。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
防災と P T A 活動 (総務部)	保護者と学校との連携強化	・ P T A 活動の活性化とその活用を図る。	・「ミマモルメ」、ホームページ、「興道だより」を利用して情報発信を行い、P T A 活動の理解と協力を求めた。これからもより工夫して保護者と学校との連携を強くしていきたい。
	防災教育の推進	・避難訓練の実施と防災マニュアルの整備	・例年通り避難訓練を実施し、緊急時の避難経路の確認を行った。また、防災に関する情報を収集し、より実効性の高い防災マニュアルを作成した。時代の流れに合わせて整備を継続していきたい。
学習指導 (教務部)	主体的・対話的で深い学びをもたらす授業展開、学びに向かう力を養う学習指導方法の研究実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業の参観</li> <li>・ICT の活用</li> <li>・校内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業や研修を通して、主体的な学びおよび ICT 機器の活用へ向けて組織的に取り組んだ。</li> <li>・ICT 支援員の助力を受け、ICT 機器の活用を推進し、生徒の主体的な学習の支援を進めた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習アンケートの実施</li> <li>・生徒面談、学習記録等の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習アンケートに班別協議を取り入れて、学習の自己管理をする力を伸ばす取り組みを始めた。</li> <li>・担任による生徒面談、日々の学習記録による振り返り活動により、個々の生徒に合わせた指導が行われた。</li> <li>・家庭学習時間を分析し、今後の指導方針についての検討材料とすることができた。</li> </ul>
生活指導 (生徒指導部)	安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外交通安全指導の実施</li> <li>・交通安全教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝の交通指導を年 2 回実施した。うち 1 回は P T A と共催で実施した。</li> <li>・各定期考査後に下校時交通指導を実施した。</li> <li>・毎朝北門と正門で交通指導を実施した。</li> <li>・保険会社と連携し、1 年生を対象に交通安全教室を実施した。</li> </ul>
	基本的生活習慣の確立	・遅刻指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻カードにより遅刻の可視化を図り、指導につなげた。</li> <li>・早朝の遅刻指導や声かけを生徒指導部員と担任や学年所属の教員と連携し効果的な指導になるよう努めた。</li> </ul>
	いじめ防止対策の推進	・いじめの早期発見に関わる取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケートを 1, 2 年生は年 3 回、3 年生は年 2 回実施し、いじめに関する項目を必ず入れた。</li> <li>・書き込みがあった生徒全員に対して面談を実施し、早期発見や未然防止に努めた。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導 (進路指導部)	生徒の適性、能力、志望に応じた進路指導	・適切な進路情報の提供と進路意識の啓発	・進路講演会や進学説明会を実施し、生徒や保護者に対して適切な進路情報を提供するように努めた。 ・大学の講義を体験させることやオープンキャンパスに参加させることを通して、進路に対する意識を啓発した。
		・大学入試に向けての指導の充実	・進路検討会を実施し、各大学の情報を共有しながら、生徒の特性や希望に応じた指導につなげることができた。 ・補習や特別講義、個別指導などを通して、各生徒の希望進路の実現に向けての指導を充実させることができた。
保健・環境美化 (保健部)	心身の健康の保持増進	・委員会活動等により、心身の健康に関する啓発活動を推進し進める。 ・特別支援教育に対する理解を深める。	・学校保健委員会では、PTA 保健委員以外にも参加を呼びかけ、健康について考える機会をより多くの方々に提供できた。また、充実した内容であったと肯定的なご意見を多数いただいた。 ・支援の必要な生徒情報を共有し、適切に対応することができた。
	校内環境の整備	・校内美化に対する意識を高める。 ・環境美化に関する委員会活動を推進する。	・行事毎の清掃点検の回数を増やしたことで校内美化に関する意識が高められた。 ・美化委員による草花の苗植えを春と秋に実施した。秋植えのパンジーが鮮やかな黄色の花を咲かせている。
研修活動 (図書部)	現職研修の充実	・校内での講演のテーマを精選する。	・今年度の現職研修は、近くの消防署から講師を招き、AED・エピペンの使用法の講習を行った。救命救急の実践的な演習ができた。
生徒会活動 (特活部)	部活動の充実	・多くの生徒がはつらつと日々の活動に参加できるよう支援し、公式戦・コンクール等の結果にも繋げる。	・運動部は多くの部活で県大会に出場することができた。 ・文化部も多くの部活で大会に参加し、表彰もされた。
生徒会活動 (特活部) 情報活動 (特活部)	開かれた学校教育と情報モラルの向上	・タブレットの使用に慣れる ・生徒の情報モラルを高める。 ・学校 Web ページで情報を提供する。	・Teams や Forms を活用して連絡をしたり提出物を求めたり、アンケートに答えさせることで、タブレットの使用にはずいぶん慣れた。 ・興道祭前に執行部がスマホ使用のプレゼンを行い、興道祭でスマホを使う際にマナー啓発をした。 ・Web ページを一新し、各教員が更新できるように改めた。
第1学年 「高校生としての基本的な生活習慣と学習習慣の確立」	真剣に学習する姿勢と部活動や学校行事に積極的に取り組む姿勢の育成	・授業を大切にし、予習、復習の学習サイクル構築を呼びかける。 ・校内での学習を推奨し、自習力を身に付けさせる。 ・部活動、学校行事に前向きに取り組むよう指導する。	・授業については概ね意欲的に取り組む姿勢が見られた。しかし、予習・復習などの家庭学習時間の確保は十分ではないため、指導を継続していきたい。 ・週末課題や長期休業課題の提出状況が不十分であった。教員の粘り強い指導で改善の傾向は見られるが、引き続き指導を継続していかなければならない。 ・考査期間中の自習や土曜日の学校開放など、校内での学習は定着しつつある。今後は、利用生徒の増加と学習効率の向上に努めていきたい。 ・部活動や学校行事については、積極的に取り組み、校外で実施された MONO-COTO challenge に参加する生徒も見られた。
	基本的な生活習慣の確立	・挨拶の励行、時間やルールを遵守することを指導する。 ・学校生活をより充実させるために規則正しい生活習慣を確立させる。	・時間やルールの遵守については、繰り返しの指導により守ろうと努める場面が比較的多かった。引き続き指導を継続し、自ら考えて判断できる集団を目指したい。 ・スマホ依存による生活習慣の乱れが健康状態にも影響している生徒が複数見られた。スマホの使い方について今一度、指導する必要性が感じられた。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
第2学年 「社会人基礎力の基礎を醸成」	真剣に学習する姿勢と部活動や学校行事に取り組む姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習を大切にし、予習、授業、復習の学習サイクル構築を呼びかける。</li> <li>・部活動、学校行事に積極的に参加するよう指導する。</li> <li>・現在よりも成長し、新たなことに挑戦できるように集会などを通して呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学や小テストに対して真剣に取り組むことができた。また、3学期から朝学習を始め、朝のSTまでの時間に静かに学習する習慣がついた。一方で、家庭での自発的な学習はまだ不足していると思うので、継続して意識づけをしていきたい。</li> <li>・部活動に積極的に取り組む様子がみられた。また学校祭では中核的な存在として、三送会ではまとめる立場としての自覚が芽生えた。</li> <li>・修学旅行を通じて集合状況が改善されるなど、昨年度よりも成長した場面が多く見る事ができた。</li> </ul>
	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や部活動などに集中して取り組むための生活習慣が確立するよう指導する。</li> <li>・挨拶の励行、時間や締め切り、ルールを守ることを集会や教科指導を通じて指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中だるみ」が見られた。生活習慣が悪化し、遅刻や欠席、課題の未提出という事態になってしまう生徒が少なからずいた。しかし、学年の教員の連携した指導によって、生活習慣の改善を促す指導ができた。結果的に、当初より遅刻や欠席は明らかに減少し、生活習慣に問題を抱える生徒との対話につなげていくことができた。</li> <li>・身だしなみではスカートの丈を短くする、化粧をする生徒が増えた。学年団でも継続した粘り強い指導を行っている。1年通して、ルールを守ることの大切さや現在の状況確認を行った。</li> </ul>
第3学年 「人間力が土台にある進路実現」	生活習慣、学習習慣、倫理観の育成、向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動、部活動、学校行事等を通して、主体性、向上心、自制心を持って行動できる人材の育成を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は、登校後や業後の学習への取り組みに対する温度差が見られるなど、自分の学習法を中心に考える生徒もいるように感じられたが、粘り強く声かけをしていくことで、学年全体で学習に前向きに取り組む雰囲気を少しずつ高めることができた。</li> <li>・体育祭、文化祭では学年全体で大きく盛り上がり、工夫を凝らした企画、発表をすることができた。</li> <li>・安易な遅刻、欠席をする生徒も一定数見受けられたが、粘り強く指導をした。</li> </ul>
	進路実現に向けて苦労を厭わない姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定と学習のために適切な助言を行う。</li> <li>・前向きに学習に取り組む姿勢を育み、困難に対しても強い意志を持って乗り越えられるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路検討会を中心に情報を共有し、各生徒に応じた目標設定、適切な助言をした。現状の学力で受験校を考える生徒もいる中で、最後まで伸びることを何度も繰り返し伝えた。共通テスト後には、理想と現実の間で、自己の進路について真剣に考える姿が多く見られたが、生徒に寄り添う助言を心掛けた。</li> <li>・当初は模試の成績に一喜一憂する姿が見られたが、多くの生徒が進路実現のための地道な努力の必要性を十分に理解し、学習に前向きに取り組む雰囲気を作ることができた。また授業や補習、特別講義などの様々な機会を生徒への進路指導の場とすることができた。</li> </ul>
総合評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育課程に基づいた、指導と評価の一体化を進めた。現職研修として参観授業週間を設定し、他教科の授業等も参考にしながら授業の改善を図った。</li> <li>・総合的な探究の時間の見直し・検討を進め、具体的な方針を示すことができた。</li> <li>・学校行事を生徒の主体性やリーダー育成の機会と捉え、生徒主体の運営方針を一層推し進めることで、より活性化させることができた。</li> <li>・毎週特別支援教育委員会を開催し、支援が必要な生徒に対して、SCや医療機関とも連携しながら必要に応じた組織的な対応ができた。</li> <li>・働き方改革を進め、職員の健康維持に努めたが、依然として時間外在校時間の多い教員もいる。引き続き業務改善を図りたい。</li> <li>・同窓会事業及びPTA活動の充実、学校評議員会の開催、老人介護施設入居者との交流、部活動の地域行事への参加・中学生との合同練習などを通して、地域に開かれた学校作りを目指した。</li> </ul>	